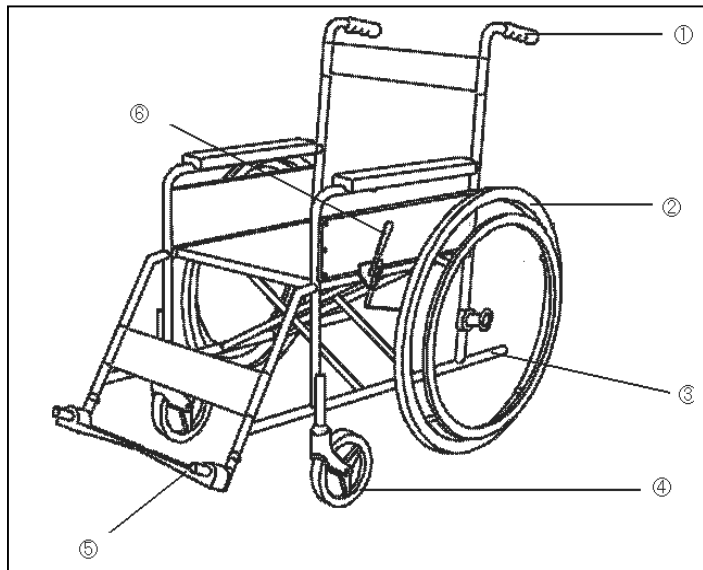


第2節 車いすの構造・介助方法

車いすについては、その構造を理解し、正しい介助方法により安全なサポートを心がけることが重要です。



- ①＝ハンドグリップ ②＝大車輪（後輪） ③＝ティッピングレバー
 ④＝キャスター（前輪） ⑤＝フットレスト ⑥＝ブレーキ

車いすの介助方法

車いすの人と話す際の姿勢	腰を下ろして、同じ高さの目線で接する。
片麻痺がある場合	健側20～45度の角度に置く。
段差 上がり方	① ティッピングレバーを踏むと同時にハンドグリップを後方に下げ、キャスターを上げたまま前に進み段の上にキャスターを乗せる。 ② 大車輪が段にぶつかったところでハンドグリップを持ち上げながら前に押し出す。